

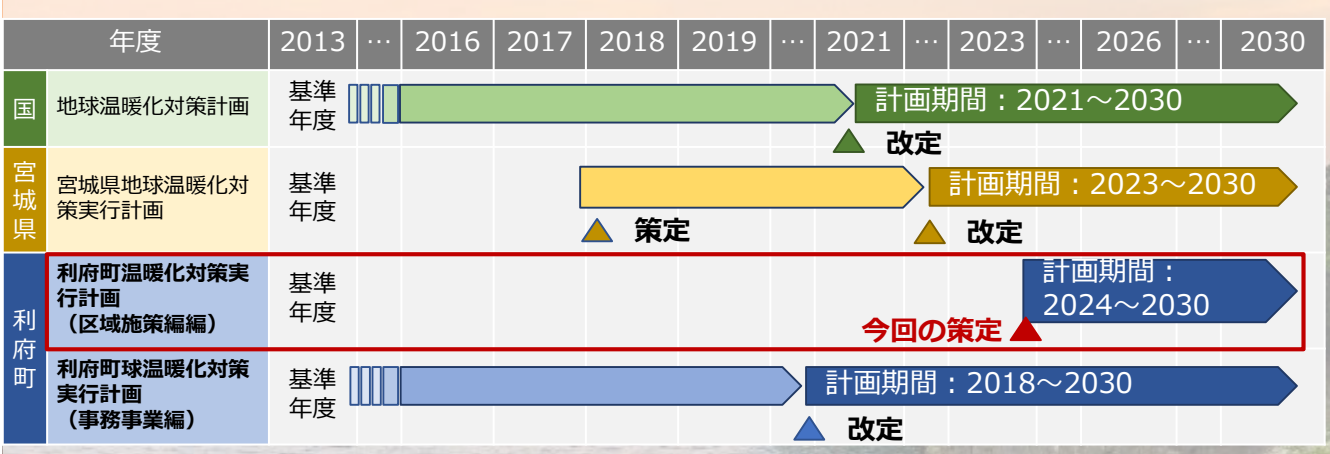
# 利府町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）



カーボンニュートラルの達成と  
安全・安心なまちづくりの実現～森・街・海の循環～

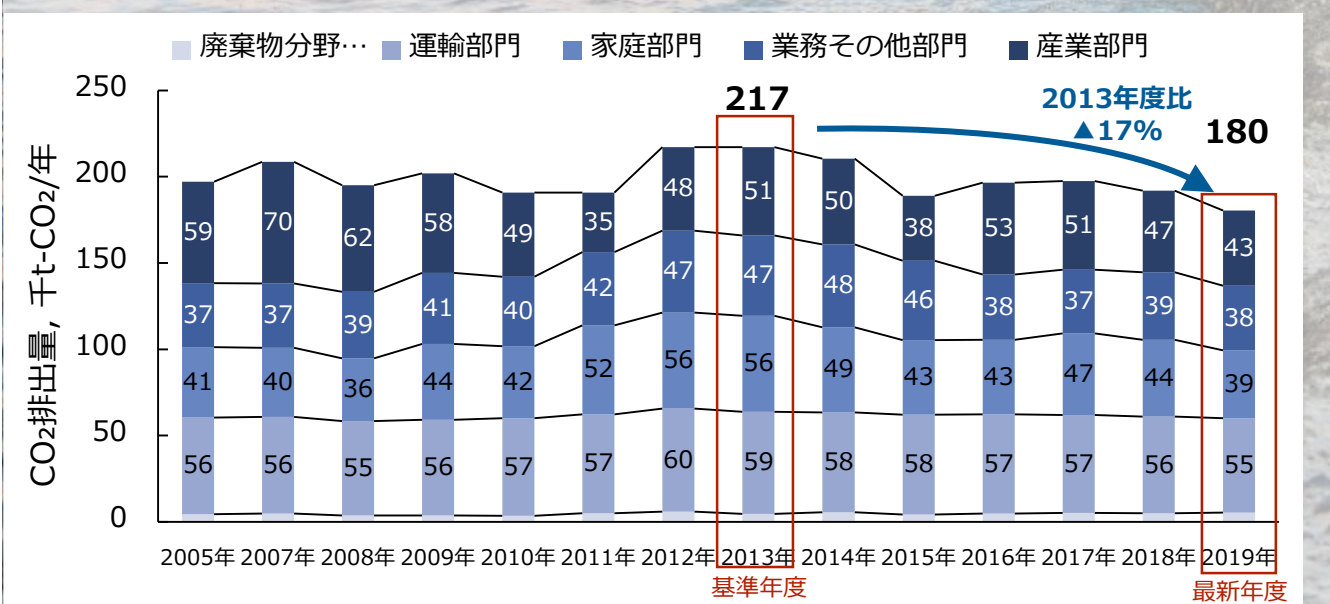
## 1. 計画の位置づけ・期間

- 2022年10月の「利府町ゼロカーボンシティ宣言」を受け新たに地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定するもの
- 計画期間：2030年度まで  
(基準年:2013年度 長期目標:2050年度)



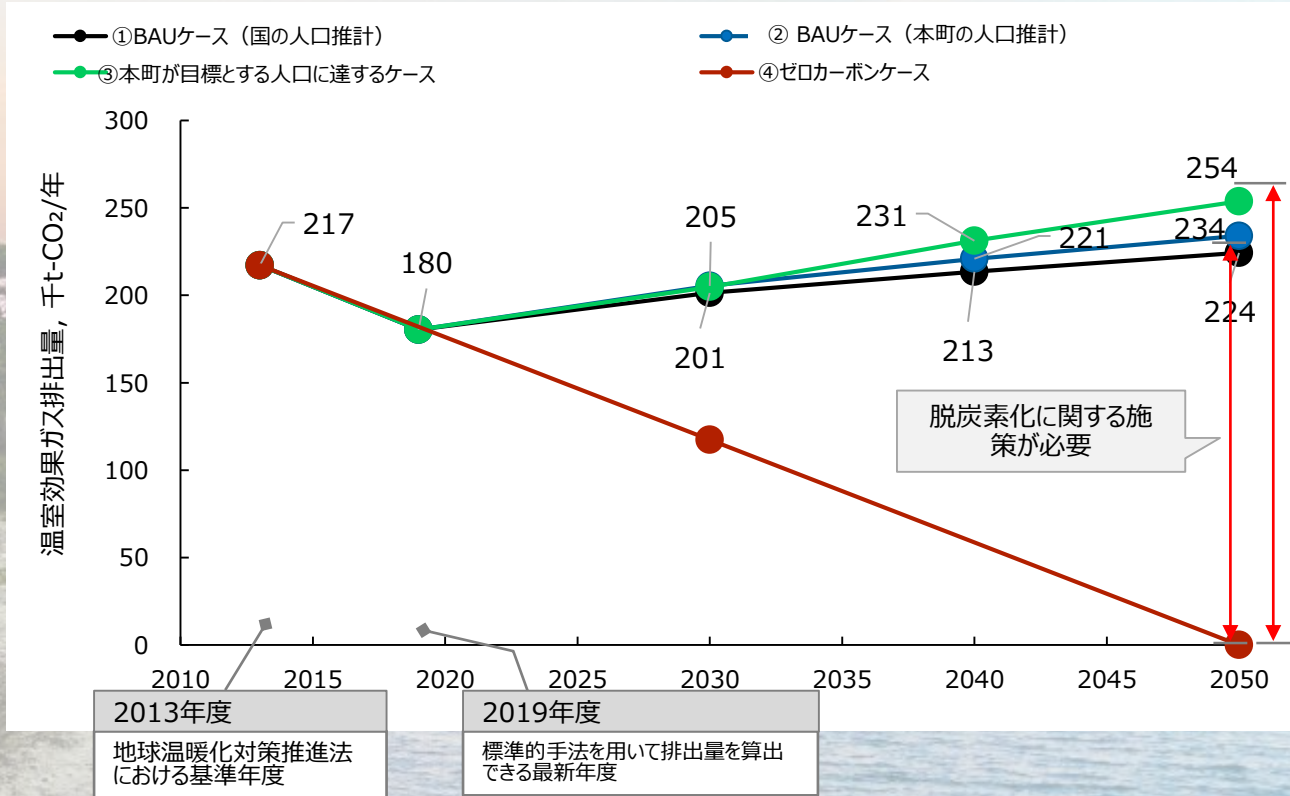
## 2. 温室効果ガス排出量の現状

利府町の排出量推計値は約18万トン-CO<sub>2</sub>(2019年度)



## 3. 将来推計と脱炭素に向けての道筋

- 追加対策を実施しない場合(BAUケース)森林吸収量を考慮しても2050年のカーボンニュートラルの実現は困難
- 目標達成のためには、追加の対策が不可欠



- 1 BAU (現状趨勢) ケース (国の人口推計)**  
今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の排出量の推移(国の推計通り人口が増加すると想定)
- 2 BAU (現状趨勢) ケース (本町の人口推計)**  
今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の排出量の推移(本町の推計通り人口が増加すると想定)
- 3 本町が目標とする人口に達するケース**  
2060年度に本町が目標とする人口に達した場合(最も人口が増加した場合)の排出量の推移
- 4 ゼロカーボンケース**  
一定の削減量で2050年ゼロカーボンを達成する場合の排出量の推移

**【中間目標(2030年度までの目標)】**  
2013年度を基準年として**2030年度までに▲87千t-CO<sub>2</sub>/年(▲46%)**の削減を目指す

**【長期目標(2050年度までの目標)】**  
2013年度を基準年として**2050年度までに▲217千t-CO<sub>2</sub>/年(▲100%)**の削減を目指す

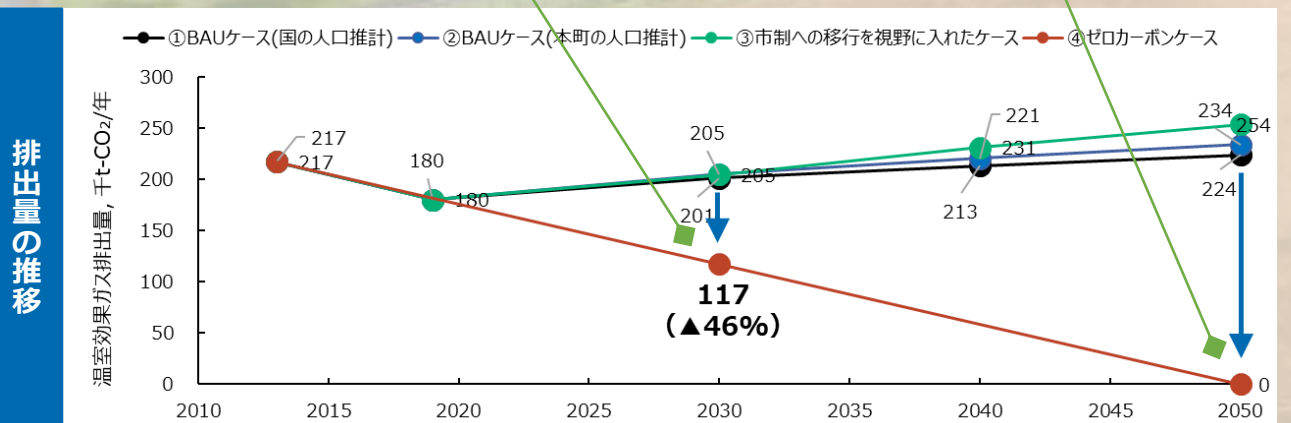
# 4. 将来ビジョンと脱炭素シナリオ

■ 将来ビジョン：カーボンニュートラルの達成と  
安全安心なまちづくりの実現～森街海の循環～



■ 脱炭素に向けたシナリオ：2030年までは意識の醸成が中心

シナリオ	2024年度～2030年度まで ＜革新技術や脱炭素に関する意識の醸成＞	2031年度～2050年まで ＜革新技術の導入と社会変容の実現＞
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国目標に向け、太陽光発電の導入を促進する</li> <li>2050年脱炭素化に向け、町民・事業者の意識醸成(環境学習やエコツーリズムの実施等)を進める</li> <li>国の補助金等を最大限活用し、EV車両・バイオマス発電等の新技術や高効率設備の導入を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術が普及し、水素を用いる機器(FCVやボイラー)等の普及が進む。既存技術も革新が進み高効率太陽光発電・省エネ機器等の普及が進む</li> <li>町民・事業者の意識醸成が進み、環境に配慮した行動を取るようになる(省エネ家電の購入等)</li> </ul>



# 5. ビジョン実現に向けた施策と関係者の取組

- ビジョン実現に向けて5つの基本方針と主な対策・施策を設定
- 再エネの積極的な導入、ライフスタイル等の変革による省エネの徹底、電気自動車等の利用促進を通じてカーボンニュートラルを実現
- 町・事業者・町民それぞれの取組が必要

方針	主な対策・施策
<b>方針1</b> 積極的な再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場・事業所屋根や空地への太陽光発電設備</li> <li>蓄電池等の設置</li> <li>事業所内空地への太陽光発電設備・蓄電池等の導入</li> <li>バイオマス発電の実施</li> <li>住宅屋根への太陽光発電設備・蓄電池等の導入</li> </ul>
<b>方針2</b> ライフスタイル・ビジネススタイルの変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>高効率家電(省エネ家電)、高効率設備(省エネ機器)の導入</li> <li>製造設備、石油ファンヒーターをエアコンに切替える等、電化促進</li> <li>断熱改修の実施</li> <li>公共交通の利用拡大</li> </ul>
<b>方針3</b> 新エネルギーの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>公用車のEV・FCV・PHV化促進</li> <li>水素を利用する機器(水素ボイラ、エネファーム等)の導入</li> </ul>
<b>方針4</b> 森林・海洋の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営計画に沿った町内森林の整備、適切な森林経営の実施、森林保全による温室効果ガス吸収確保対策、植林の実施</li> <li>農作物等を活用したバイオ炭の製造・利用</li> <li>未利用資源(梨の摘果、牡蠣殻等)の利用</li> <li>ブルーカーボンの利用促進、ブルーカーボンの活用に向けた検討の実施</li> </ul>
<b>方針5</b> 町民・事業者の意識醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の再エネ利用や省エネ意識の醸成の促進</li> <li>ごみの分別や生ごみ処理の推進と資源循環、エネルギーの有効利用</li> <li>環境教育、環境学習の促進</li> <li>環境学習を兼ねた観光イベントの実施</li> <li>住宅屋根への太陽光発電設備・蓄電池等の導入(再掲)</li> </ul>

- 自宅屋根への太陽光発電設備等の導入
- 高効率家電(エアコン、LED、冷蔵庫)の買換え等
- 公共施設への太陽光発電設備等の導入
- 事業者、町民の政府支援措置獲得の支援等
- 自社工場等への太陽光発電設備等の導入
- 森林の適切な管理等